

# 石巻・十三浜プロジェクト

## 2015年度 活動報告書

## 石巻・十三浜プロジェクト 2015

### ー地産材・現地発生木を活用した建築と地域間連携による協働プロジェクトー

石巻市十三浜地区におけるこの活動は、宮城県七ヶ宿で水源を守る活動をされている特定非営利活動法人 水守の郷・七ヶ宿さんとご一緒させて頂いたことがきっかけとなって始まりました。「地域の資源を大切に活用すること」、「人の手によるものづくり」を大切に考え、日本工学院八王子専門学校建築設計科の先生方に相談し、2012年から「はじめての建築」という、学校のカリキュラムに組み込んで、取り組んでいます。今年も、たくさんの楽しいこと、たいへんなことがありました。

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震から来年の3月で5年になります。その後も日本列島では様々な災害や事件、事故などがありました。また、イベントやニュースも多い、情報があふれている現代の時間感覚では、5年とは、ずいぶん長い時間のようにも感じられます。

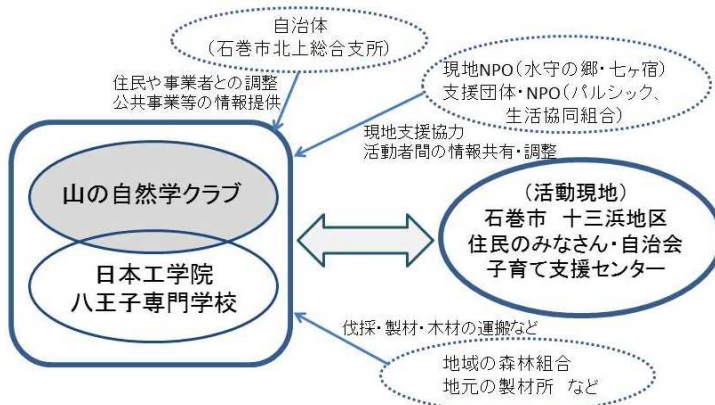
現地の状況は、時々刻々変化して参ります。今後も現地のみなさんと協力しながら、相談させて頂きながら、対象等を検討しながら、続けていきたいと考えています。

**十三浜地区について** 北上川の左岸、河口近くから志津川湾までに位置する十三浜地区。もとは宮城県本吉郡の十三浜村でした（明治22年～昭和30年）。志津川湾との境・神割崎までが十三浜（小滝・大指・小指・相川・小泊・大室・小室・白浜・長塩屋・立神・月浜・吉浜・追波の計13の浜＝集落）です。旧北上町でしたが、平成の大合併で石巻市となりました。



### プロジェクトの実施体制・2015

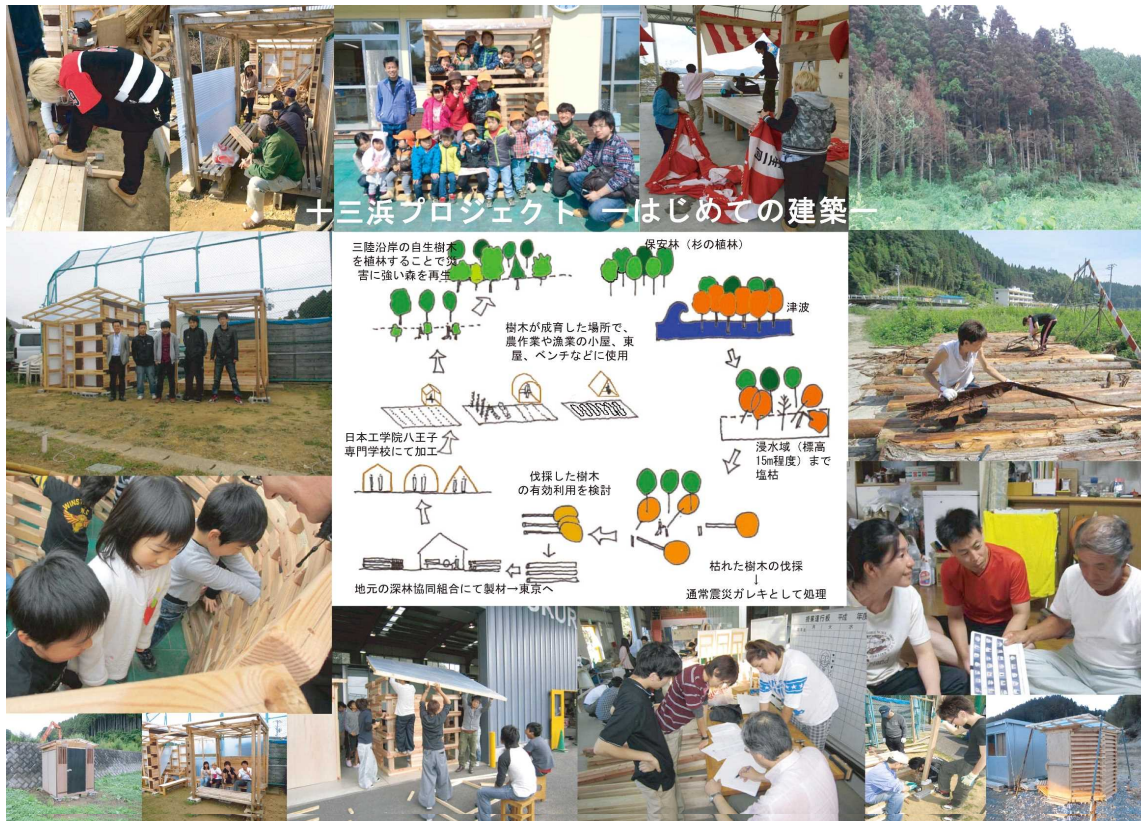
この活動は、多様な主体が献身的に関わってくださることで成り立っています。現地のみなさん、柔軟に対応して下さる石巻市北上総合支所や森林組合のみなさん、水守の郷さんをはじめ仲間みなさん、すべてのみなさまが協力し合って進めているのがこのプロジェクトです。



## 十三浜プロジェクト ～地産材の有効活用と地域活性化に向けた取り組み

- (1) 地域の方（自治会・自治体）と相談しながら伐採／近隣での製材など
- (2) 自治会のみなさんと相談し、製作する建造物および製作スケジュールを検討する
- (3) 木材を日本工学院八王子専門学校に運搬し、学生が実習課題として製作に取り組む
- (4) 学内での製作発表を行った後、現地に運搬し組み立て・設置を行う
- (5) みなさんのご意見や使用状況に応じてメンテナンス・補修などを行う

専門学校では、建築学科の一年生が毎年取り組んでいる「はじめての建築」という課程で、現地地産材を素材として使用し、この地域で利用する建築を製作します。現地では自治会のみなさんと相談しながら設置場所を決めたり、新しい場所へ移動したり、適宜行います。



## 2015年の十三浜プロジェクト

2011年は相川地区の津波による塩害で枯れそうな杉を伐採させて頂き、製作資材の一部として使用させて頂きました。2012年にはやはり塩害を受けた長塩谷地区海岸林のマツを伐採するというので、引き取らせて頂きました。2014年には白浜地区の集団移転地で、2015年には大室地区の移転地から樹木を引き取りさせて頂いております。これらの木材を使用しつつ、現地のみなさんに使って頂けるものを学生のみなさんが考えて、製作します。



造成がすすむ集団移転地 左：大室地区 右：相川地区

## 「はじめての建築」2014

2014年の日本工学院「はじめての建築」課程では、子育て支援センターや農園で使って頂く遊具やベンチ付きの東屋を3つ、仮設団地の近くなどで使って頂く東屋を2つ、道具などをしまうために使って頂く小屋を2つ、設計・製作して下さいました。



10月の学園祭で作品を班ごとに発表、著名な建築家にも見て頂いたそうです。そして一度解体し、春休みに現地へ運搬しました。今年は何カ所かに分けて設置をしましたので、荷下ろしもそれぞれの場所に下ろすようにしました。

## 現地への設置 2015年 / 調整・メンテナンス

今年のはじめて、橋浦のセンターに置かせて頂けることになりました。休園日に行って園庭に設置します。ベンチ付きの遊具と、かわいい絵のついたベンチです。近所のお子さんが遊びに来てくれました。設置した後、大人も使っていました； お天気の日には気持ちよさそうです。



にっこりサンパークの仮設団地の下に「にっこり農園」があります。東ティモールなどでフェアトレード等の協力活動をされているパルシックさんの農業復興支援(2012年～)によって休憩所がつけられました。みなさんの憩いの場所になっています。職員の西村さんが献身的に働いていらっしゃる、お弁当の宅配など大忙しの様子です。今年からこちらにもあずまやや倉庫など、使って頂けるものがあるか伺いながら、作業を進めさせて頂きました。



こちらは、学生さんがデザインしたときにはベンチだったようですが；パルシックさんから、みなさんでつくった物や取り寄せた商品を販売するのに置く場所がないと聞き、先生が「よろ



しければこちらを使ってください」とご提案。翌月訪れると見事に活用されています！さっそく使って頂けて嬉しいです。

8月にお伺いしたときには、農園の中にあつた骨組みを利用してお休みどころをつくらせていただきました。中にベンチを置いて、いつでも作業中に休めるように、と思ったのですが...

「これは乾燥野菜を作るのによさそう！」とご好評。たしかに、小型の温室のようにも見えます。

作り手と、使い手の思惑の違い、実際にそこにいる方々がどのように活用して下さるのか、現場でふれあいながら見られることも、学生さんにはいい勉強になるのではないのでしょうか(もちろん、私たちにとってもたいへん勉強になります)。

この活動で、現地での設置・製作も3年間の時を経ていきます。最初のころに持ってきたものは少し古くなってきましたので、改修したり、増築したり、一度解体したり、また組み合わせで別のパーツに使ったり、とそれぞれに作業を重ねています。使って下さるみなさんが補強したり、別の活用方法を見つけて利用して下さったりもします。もともとこちらの樹を木材にして持ってきているのですから、形を変えながら、この地で活用されているのを見るのは、私たちにとっても本当に嬉しいことです。

相川の子育て支援センターの遊具、2013年に製作した作品で、2014年の春に運搬して設置させて頂いたものです(左写真)。こちら、今年の春に訪問した際には、プランターを横に置いてツタを育てています(右写真)。グリーンが加わって、いい雰囲気です。



写真：

相川の子育て支援センター

左：2014年4月の設置時

右：2015年7月の訪問時



相川公園の仮設住宅の横には、夕涼みできるようにベンチ付きの東屋を置かせていただいています。みなさん外に座ってお話ができるとご好評頂いているようで、嬉しいです。

左は団地に置かれているごみの集積所ですが、壁が古くなってしまったので、学生さんが補修させて頂きました。高台移転地の宅地造成は、今年ようやく終わったところが何カ所かありますが、測量が終わって造成に取りかかったばかりの地区も。住環境の改善に、少しでもお役に立てたらいいなと思います。

## はじめての建築・2015年～2016年に向けて

9月の日本工学院八王子専門学校、活気あふれるものづくり工房の様子です。今年の「はじめての建築」の最終工程、製作が始まりました。今年は地元の製材屋さんが協力してくださって、移転地から伐採されたスギを材にして下さいました。みなさん、はりきって製作に取り組

んでいただいているようです。現地からお預かりした材ですので、余すところなく使いたいということで、今年は端材を集めて小さな積み木のセットも作成して下さったそうです。サンプルができたところで見せて頂きました。スギは軽くて手触りが柔らかいので、小さなお子さんでも使ってもらえそうです。



### 十三浜 浜の歳時記・2015年

【3月11日 十三浜ワカメうどん 生産開始！】

水守の郷・七ヶ宿の海藤理事長や漁師さん達が協力して開発した、十三浜わかめ温麺は、白石のきちみ製麺さんが協力して下さって製造・販売されています。この知識と経験を活かして、もっと自分たちの商品を開発できないかと取り組んできました。そして十三浜＝海と蔵王＝山とのコラボレーション商品として、きちみ製麺さんから古い製麺機を提供して頂き、わかめうどんの開発研究を続けてきました。そしていよいよ今年3月に製造販売を開始しました！

石巻・十三浜ワカメうどん完成 8日に祭り | 河北新報オンラインニュース



宮城 文化・暮らし

#### 石巻・十三浜ワカメうどん完成 8日に祭り

石巻市北上町十三浜の住民有志らが特産品を生かす「十三浜ワカメうどん」を開発した。東日本大震災から4年となる11日に製麺事業を始め、津波で甚大な被害を受けた地域の活性化につなげる。8日には「十三浜うどんセンター」と改称した地元の産直センターで、試食販売会を兼ねた「復興ワカメ祭り」を開く。

うどんは生麺タイプで、粉末状にした十三浜産の塩蔵ワカメを蔵王産の小麦粉に混ぜた。ワカメの割合は食感や風味などを考慮し2%程度で仕上げた。

細麺（約1ミリ）と太麺（約3ミリ）を用意。ゆでると緑色の艶が増し、磯の香りが口の中に広がる。コシが強く滑らかな舌触りで、喉越しも良いという。1食130グラムで、5食1000円でインターネットの専用サイトなどで販売する。

製造・販売は消防団に入っている若手を中心につくった「十三浜ワカメうどん夢倶楽部」が担う。製麺作業は白石市の業者から借り受けた機材を使い、うどんセンターで行われる。

復興支援を続けてきたNPO法人「水守の郷・七ヶ宿」の海藤節生理事長が開発に協力。十三浜産ワカメを用いて温麺（ラーメン）を商品化した経験を生かし、2014年2月ごろから試作に取り組み、夢倶楽部事務局の湯藤昭弘さん（45）は「麺好きな人もうならせる出来栄。販路を広げて地元の人を雇用し、地域を元気にしていきたい」と意気込む。

ワカメ祭りは午前11時から。200食限定のワカメうどん（300円）のほか、ホタテ焼きやワカメしゃぶしゃぶ、地場の水産加工品

河北新報オンライン 2015年3月8日版



きちみ製麺さんから頂いた製麺機。相川のうどんセンターに設置。

春祭りでは試食販売のお手伝いをしました。

【4月11日 国立劇場公演・東北の芸能IV～みちのくのオニ～】

大室地区は「大室南部神楽保存会」のみなさんにたいへんお世話になっている地区です。2013年5月に復活祭を行った大室南部神楽。毎週集まって練習を重ね、各地での公演なども熱心になさっています。そんな彼らの活動を見て、声がかかったようです。2011年から企画、開催

されている国立劇場の「東北の芸能」公演への出演依頼があったそうです。劇場は近所ですので；前日、お祝いに伺いました。これも、この春のビッグニュースでした。

【5月 きたかみ春祭り・大室南部神楽】

今年も大室地区で「きたかみ春祭り」と銘打ってお祭りを開催しました。これまでは南部神楽の盛んな本家、一ノ関の下大籠南部神楽さんから組み立て式の舞台を借りて公演してきましたのですが。実は共生地域創造財団（生活クラブの立ち上げた支援財団）から昨年、舞台を支援提供したいとのお話がありました。日本工学院の渋谷先生が以前、一ノ関に訪問して入手されていた図面と、試作した模型を提供されました。その図面などを元にして今年、真新しい“檜舞台”が贈呈されたのです！



【8月 十三浜夏祭り】

相川音楽祭として始めた夏祭り。こちらもどんどん賑やかに、大きくなっています。今年は温麺の提供を受け、流しソーメンならぬ流し温麺（うーめん、と読みます）をすることに。私たちも前日から、準備のお手伝いのため合流しました。もちろんすべてが手作り。竹を切り出すところから準備は始まります。そのほかやぐらやテントを組んだり、会場のセッティングをしたりと、手分けして作業します。



そして翌日のお祭り当日。子供たちの甚句からお祭りが始まりました。ふだんは離れて暮らすみなさんも、夏祭りのために集まってきました。いつも活動にいらしているボランティアのみなさん、交流のある関東の小学校のみなさん、太鼓のグループ、ミュージシャンやその友人達など…。賑やかに、大いに盛り上がった一日となりました。

流しうーめんも好評！

最初はどうなることかと思っていましたが、きちんと流れてくれてほっとしました。おいしかったです！



5年経過を前に



2012年6月の相川小学校



小学校前の畑



2014年に解体。3校が合併した



2012年3月19日ピザ釜完成



2012年8月には小屋ができた



10月にはウッドデッキも

これまで十三浜を通じて、多くの方々との出会いがありました。偶然のような、しかし後で振り返ると必然であったような、不思議なご縁に恵まれました。私たちにとっては、活動を充実させ、みなさんとの協働を進め、たのしくやりがいのある仕事として携わらせて頂いてきたと考えています。しかし、2011年当初、2015年が終わろうとする今の時期まで仮設住宅でみなさんが暮らすことを誰が思い描いていたのでしょうか。おつきあいを重ね、みなさんの暮らしぶりを間近で拝見させて頂き、自分なりに「浜で暮らす」ということを学んできたつもりです。これからの日本を、地域を、生活を、人を育てることを、様々に考えさせて頂くことにもなりました。この経験を、少しでもつなげていくことがこれまでお世話になったみなさんにお返しできることなのかなと感じています。これからも「十三浜に帰ろう。」と思います。



2012年8月に行った第1回夏祭り、カマガミ・フェスティバル。  
このときはレンタルしたトレーラーの荷台をステージにしました。

2014年度と2015年度、このプロジェクトは日本郵便の年賀寄附金の助成を受けて進めさせて頂きました。2016年度の年賀寄附金のポスターに十三浜プロジェクトの写真を使って頂きました！



日本工学院八王子専門学校  
建築科/建築設計科  
ものづくり工房での製作風景



十三浜・相川地区にある  
子育て支援センターに遊具設置  
デザインした学生さんと子供達